

まどぐちは、こうぐち!



あなたの力が未来を変える

サポーター募集!

こうぐち 高口ようこ 連絡先

事務所 ▶ 176-0002 練馬区桜台 2-40-6 マートルコート桜台 103 TEL・FAX 03-6915-8535

koguchiyoko.net
 info@koguchiyoko.net
 fb.com/koguchiyoko/
 instagram.com/koguchiyoko.nerima
 twitter.com/koguchiyoko
 高口ようこ広報部で検索!

届けたい、区政の今! 元ライターならではのわかりやすい言葉で、随時発信しています!

草の根の市民グループです

市民の声 ねりま

- ▶ 地域に根ざし、身近で開かれた政治を担うローカルパーティ（地域政党）です。
- ▶ 地域のさまざまな問題に取り組んでいく、自発的で行動的な市民のネットワークです。
- ▶ 「ともに生きる ともにつくる」を合言葉に、練馬から政治と社会の改革をめざします。
- ▶ 3人の区議会議員（池尻成二・岩瀬たけし・高口ようこ）を先頭に活動しています。

未来のために、憲法を考えたい!

子ども達にも大きく影響する、憲法改正…。親としても考えたい、憲法の問題。そこで、『こども憲法カフェ』を開催。紙芝居等でわかりやすく伝えつつ、一緒に考えました。「一人ひとりが違っていい、それが大事だとわかった」という子どもの感想に、感動!

シングルマザーとして…

3年前、夫を亡くして感じたこと。「私が死んだら、この子達は…?’子どもたちのために、様々な地域活動を始めました。自分達を地域に“開いていく”。誰かが見守ってくれるように。「地域で子育て」の環境づくりに、本気です!

他にも、テーマは様々!

- 見直そう! PTAのあり方
 - 本当に安全? 羽田空港新ルート
 - 種子法が心配… 守りたい! 食の安全
 - 新しい地域経済のカタチを
 - 男女平等、本当に、あたりまえに
 - Peace First!
- 原発&基地のない未来へ



こうぐち 高口ようこ (旧姓: 荒川) プロフィール

練馬区議会議員 (市民の声ねりま)

1980年、生まれも育ちも練馬区桜台。小竹町在住。小3男子、年長女子の2児の母。武蔵野音大第一幼稚園、開進第三小・中、都立大泉高校と、練馬で過ごし、“ねりま愛”を育む。慶應義塾大学卒(文学部哲学科)。制作会社勤務を経て、フリーライターとして11年活動。子育て、教育、練馬地域の取材を多く手がける。母として、もっと地域をよくしたい!と、地域活動を多数主宰。2016年、夫をがんで看取り、在宅医療や介護を経験。2018年、練馬区議会補欠選挙で初当選。文教児童青少年委員会、清掃・エネルギー等特別委員会に所属。

練馬区議会での、女性の割合は $\frac{1}{5}$

小学生以下のママは $\frac{3}{50}$

子育て世帯の声、女性の声をもっと届けなければ!!



高口ようこ

練馬区議会議員 こうぐち

区政の今、活動報告など…

ブログ 続々 発信中! ぜひご覧ください!

高口ようこ 検索

まどぐちは、こうぐち。!

ねりま出身だから **地域密着のまどぐちに!**

ひいおじいちゃんの代から練馬っ子。幼い頃から暮らす練馬で、様々な地域活動を展開中。地域をよ〜く知っている、身近な議員に!

ライターだから **聞いて伝えるまどぐちに!**

ライター歴は14年。わかりやすく伝えるプロです。わかりづらい区政を、わかる言葉で。あなたの“困った”を力強い言葉で区政にぶつけます!

2児のママだから **子育てのまどぐちに!**

「保育園にも学童にも入れないし、質も心配」「もっと親子の居場所があれば」「教育、大丈夫?」子育て真っ最中…だから親身に共感できます!

夫をがんで亡くし… **悩みに寄り添うまどぐちに!**

3年の闘病の末、2016年、夫を末期がんで看取りました。車椅子を押し、在宅医療や介護をし…。その経験こそ、私のこころ。皆さんの想いに、寄り添います。



こうぐち 高口ようこがめざす、ねりまのまちづくり 5つの柱



1 子どもがのびのび見守られて育つまちに

赤ちゃんの頃は孤独感、大きくなったら保活に疲れ果てる…そんな子育ては、もうたくさん。ワンオペ育児を解消、保育園や学童の数を確保し、“質”も大切にしたい。なんととっても、ねりまには豊かな緑がある。思いきり遊べる環境を増やすことが、使命です。

- ▶ 保育園や学童…数は当然。“質”にも本気で
- 創造力を育む遊び場を & 子どもが伸びる楽しい校庭に！
- 預かり保育の拡充、予約しやすいシステムに **実現!**
- ▶ 本気で考えよう…児童相談所問題

実践 「ママカフェ」「産後カフェ」「子育て相談会」「保活のイロハ座談会」「こうのとりのゆりかご(通称・赤ちゃんポスト)勉強会」を開催



2 子どもも大人もともに学び、育ちあうまちに

みんな違って、みんないい！多様性を受け入れ、生涯学べる“みんなの学校”や、一人ひとりに向き合う教育を推進します。ムリ？ そんなことはありません。すでに実現している国もあるので。

- ▶ 教師の負担を減らし力を発揮できる支援を
- 協同の学びを推進
- ▶ 少人数編成で一人ひとりに向き合う教育
- 分けない教室で学びを豊かに
- 「子どもの権利条約」の制定を

実践 「北欧&西欧教育勉強会」「PTAを考える会」「こども憲法カフェ」を開催 議会で、発達障害の問題に切り込む！



3 病気やハンディがあっても心地よく暮らせるまちに

末期がんの夫を看取ったとき、最後まで尊厳をもって、安心して生きられる在宅医療・介護の必要性を痛感。どんな状況でも、自分らしく生きられるように。当事者や家族の支援に力を入れていきます。

- ◀ 在宅医療、介護を推進
- ◆ 病気でも仕事を続けられ、療養に専念できる仕組みを
- 当事者や家族を支える制度

実践 「在宅医療講座」「障害を考える会」を開催



4 多世代がゆるやかにつながり助けあえるまちに

多世代がつながることで発揮される力の大きさを実感。防犯力&防災力が高いまち、独居者やひとり親なども孤立しない居場所や、支え合える仕組みをつくります。

- はらっぱやコミュニティハウス…人が集うアイデアを
- 地域を分断する大型道路声を上げて中止に！

実践 「補助172号線を歩こう会&考える会」「無料法律相談会」を開催 放射36号線予定地を視察



5 自分らしく、安心して働けるまちに

人と仕事と地域とがつながれば、まちはもっと豊かになる。子どものそばで働けるワークスペース、ワークシェアなどで、地域経済と助け合いの好循環を生み出します。父親や若者が地域と関わるきっかけづくりや、男女の差別解消にもつなげていきます。

- ワークシェア、ワークスペースetc…柔軟に働ける環境を
- ▶ 区内の不安定雇用、改善を

実践 「ハラスメント講座」を開催



議会での主な提案！

子育て支援

- ① 産後ケアが重要！ 子育て応援券はママの心身を支えるメニューの追加・期限延長など、見直しを **実現!**
- ② 一時預かり、予約しやすいシステム & 枠の拡充

教育

- ① 子ども一人ひとりを見守る、少人数教育
- ② お茶ノ水女子大学附属小学校の「てつがく科」などを参考に、共に考える「協同の学び」
- ③ 映画「みんなの学校」のように、誰もが同じ教室で学べるインクルーシブ教育
- ④ 教師の働き方改革
- ⑤ 不登校問題…安心できる居場所を、各地域に

まちづくり

- ① 大型道路より地域コミュニティを大切に
- ② 子どものあそび場を守り、増やそう！

在宅医療とがん対策

- ① がん患者の再就職や社会復帰の支援
- ② 家族支援を含めた、チームによる在宅医療体制

環境

- ① マイクロプラスチック、「出さない」取り組みを

働き方

- ① “官製ワーキングプア”を生み出す制度の見直しを
- ② 自分らしい働き方への支援を

こんな活動しています！

「子どもてつがく」が熱い!!

「友達は何で必要?」「ゲームは何で面白い?」子ども達が輪になり、答えのない問いを話し合う。今注目の「子どもてつがく」を、練馬でスタート! 子どものひらめきに、大人のほうがハッ! とさせられます。変わらないといけないのは、大人のほうかもしれません。



多世代の遊び場で、まちをつなぐ!

親子、おじいちゃん・おばあちゃんの3世代が、ボードゲームで遊んだり、アートのワークショップを楽しんだり…。小竹町で、遊び広場「こたけひろば」を開いています。顔の見えるまちづくりを実践中! まちづくりの延長線上に、政治があります。

